



第231号 令和5年(2023年)11月20日

# 市議会だより

## ■主な内容

9月定例議会の概要 .....	2
各委員会での主な議案審査状況 .....	2
議決一覧 .....	8
一般質問 .....	10
議会改革特別委員会の設置 .....	13
常任委員会行政視察報告 .....	14



**読書って楽しいね！**

物語の世界にどんどんと引き込まれていく子どもたち。9月定例議会では、児童生徒の読書活動の充実および学校図書館の活性化を図るための補正予算を可決しました。

市議会の詳しい情報は鈴鹿市議会のホームページをご覧ください

鈴鹿市議会

検索

<https://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>



# 9月定例議会の概要

## 一般会計や上下水道事業会計などの 令和4年度決算を中心に22議案を可決・認定・同意

9月定例議会を、8月28日から9月26日までの30日間の期間で開催しました。

まず、初日の8月28日には、市長から「令和5年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)」など14件の議案が提出され、提案説明が行われました。

9月5日には、提出議案に対する質疑を行い、5日、6日、7日、8日、11日には、18名の議員が一般質問を行いました。

11日には、議案14件を各委員会に付託しました。また、「教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書」など4件の請願を各委員会に付託しました。

11日、13日、14日、21日には、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の26日には、各委員長から付託議案について審査結果の報告があり、2名の議員が討論を行った後、採決の結果、議案14件はいずれも可決または認定しました。次に、請願について各委員長から審査結果の報告があり、採決の結果、請願4件はいずれも採択しました。続いて、委員会発議案4件の意見書案が提出され、提案説明の後、採決の結果、委員会発議

案4件はいずれも可決しました。次に、議会基本条例を検証し、さらなる議会改革に向けて調査研究することを目的に、7名の委員をもって構成する「議会改革特別委員会」の設置を決定し、委員の選任を行いました。また、市長から「人権擁護委員候補者の推薦同意について」など4件の議案が追加提出され、提案説明の後、採決の結果、議案4件はいずれも同意することに決定しました。

最後に、11月23日までを休会とすることを決定し、散会しました。



## 各委員会での主な議案審査状況

### 総務委員会

議案第64号 鈴鹿市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について



9月14日

### 市長や職員などの損害賠償責任を一部免責

**【概要】** 地方自治法の一部改正に基づき、善意でかつ重大な過失がない場合、市長や職員などの市に対する損害賠償責任の一部を免責する制度を導入するに当たり、必要な事項を定める条例を制定するもの。

**【質疑】** 第2条第1項第1号から第4号に掲げる者(市長、副市長、教育長、消防長、上下水道事業管理者、職員など)以外で、損害賠償責任の一部免責の対象となる者はいるのか。

**【答弁】** 上記の者が一般的であり、それ以外の者は今のところ考えにくい。

## 予算決算委員会

予算・決算の審査は、総務・文教環境・地域福祉・産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

### 総務分科会



9月14日

議案第63号 令和5年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)

### 高齢者の特殊詐欺被害を防止

#### ○防犯事業費 40万円

**【概要】** 高齢者の特殊詐欺被害を防止するため、特殊詐欺被害防止機能付き電話機または周辺機器の設置費用の一部を助成するもの。

**質疑** 特殊詐欺被害防止機能付き電話機または周辺機器とはどのような機器か。

**答弁** 公益財団法人全国防犯協会連合会が認定している特殊詐欺被害防止機器で、特殊詐欺を未然に防止するために、電話の着信時に警告音声を発する機能を有し、かつ通話中に自動的に通話内容を録音する機能を有している機器のこと。具体的には、電話機自体に機能が付いているものもあれば、電話機とモジュラージャックの間に取り付ける機器もある。



特殊詐欺被害防止機器

### 文教環境分科会



9月13日  
(午前)



9月13日  
(午後)

議案第63号 令和5年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)

### 民間プールで水泳授業を実施

#### ○教育活動費等／水泳授業委託事業費 466万4,000円

**【概要】** 小学校2校のプール設備に不具合が生じたことにより、自校での水泳授業の実施が困難となったことから、外部に委託するもの。

**質疑** 牧田小学校の全学年と庄野小学校の4年生から6年生は民間のプールを借りて水泳授業を行うということだが、どのようなスケジュールで授業を行うのか。

**答弁** 使用する民間のプールは屋内プールであることから、季節や天候に左右されないため、10月から授業を開始することを考えている。

**質疑** 水難事故防止のためということであるが、着衣水泳は予定しているのか。

**答弁** 民間のプールであり、他の利用者のことも考慮して、着衣水泳は考えていない。水難事故から身を守るために、スイミングスクールのコーチから背浮きなどの指導を行ってもらうことを予定している。

## 太陽光発電設備などの設置費補助で温室効果ガス排出量を削減

### ○地球温暖化防止対策費／太陽光発電設備等設置費補助 721万5,000円

**【概要】** 太陽光発電設備単体または太陽光発電設備および蓄電池を設置した市民に対して、設置費用の一部を補助するもの。

**質疑** 補助金額の上限が121万6,000円であるが、その積算方法は。

**答弁** 太陽光発電設備の補助金額は1キロワット当たり7万円で、最大10キロワットまで補助をすることから、上限額が70万円となる。また、蓄電池の補助金額は1キロワットアワー当たり工事費込みで15万5,000円で、最大10キロワットアワーまでのうち3分の1を補助することから、上限額が51万6,000円となる。よって、太陽光発電設備と蓄電池の両方を設置した場合、これらを合計した121万6,000円が上限の補助金額となる。

**質疑** 申請のスケジュールおよび応募の受け付け方法は。

**答弁** 10月から申請を開始し、毎月抽選により交付対象者を選定する予定である。

**質疑** 予算は翌年度に繰り越しできるのか。

**答弁** 現時点において県からは、翌年度への繰り越しは不可能である旨を聞いている。年度内に交付ができなかった分については、県に返還することとなる。



太陽光発電設備

### 議案第70号 令和4年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

## 公共施設予約システムの利用実績

### ○公共施設予約システム運用費 78万9,600円

**質疑** 令和4年度の公共施設予約システムの利用実績は。

**答弁** 全てのスポーツ施設を合わせて1万5,088件の利用があった。ほぼ全ての利用者が自ら公共施設予約システムに入力しているが、窓口や電話で予約があった場合は、職員が内容を聞き取り公共施設予約システムに入力している。

**質疑** 公共施設予約システムで予約をする場合と、窓口や電話で予約をする場合の公平性はどのように保たれているのか。

**答弁** 窓口や電話で予約を受け付ける際は、職員が公共施設予約システムに入力するまでに先に公共施設予約システムによる他の予約が入った場合には、そちらが優先される旨を説明している。

## 中学校の部活動に部活動指導員を登用

○部活動振興費 941万9,250円

**質疑** 部活動への部活動指導員の登用はどのような状況か。また、どのような部活に登用されているのか。

**答弁** 令和4年度の実績は、7校に各校1人ずつで、7人登用した。また、登用した部活は、平田野中学校のバドミントン部、白子中学校の吹奏楽部、鼓ヶ浦中学校のバレーボール部、神戸中学校の卓球部、大木中学校のハンドボール部、千代崎中学校の柔道部、天栄中学校の卓球部である。

**質疑** 部活動指導員を登用することでどのような効果があったのか。

**答弁** 教員の勤務時間のうち、部活動にかける時間が軽減されている。



部活動指導員による部活動の様子

## 地域福祉分科会

議案第63号 令和5年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)



9月14日  
(午前)



9月14日  
(午後)

## 放課後児童クラブのICT環境を整備

○放課後児童対策費 813万5,000円

**【概要】** 放課後児童クラブのICT環境を整備することにより、放課後児童クラブ職員研修機会の充実と事務負担の軽減を図るもの。

**質疑** ノートパソコンを購入する理由は。また、購入金額は妥当であるのか。

**答弁** ノートパソコンを購入することにより、放課後児童クラブの職員がオンライン研修を実施できるようになる他、アプリを導入することにより、決算書の入力に関して、リモート操作で入力方法などを説明できるようになる。また、ノートパソコンの購入金額については、販売店に問い合わせ、最も安い金額で予算要求している。

**質疑** ノートパソコンの更新方法は。また、放課後児童クラブにWi-Fi環境は整っているのか。

**答弁** ノートパソコンの更新は、各放課後児童クラブで補助金を活用し、対応していただく予定である。また、数年前から連絡事項などはパソコンのメールで行っているため、大半の放課後児童クラブにはWi-Fi環境が整っているものと考えている。



放課後児童クラブの様子

## 安心して産み育てられる子育て環境の充実

○子育て支援事業費／子育て支援総合コーディネート事業費 372万9,000円

**【概要】** 地域に密着した子育てに特化した情報誌および妊産期から成人までの子育てに関する総合的なリーフレットを作成するもの。

**質疑** リーフレットのデザイン料や印刷費は幾らか。また、内容はどのようなものか。

**答弁** 補正予算額の372万9,000円には、デザイン料および印刷費の全てが含まれている。また、リーフレットの内容については、補正予算が可決された後に検討していく予定である。

**質疑** リーフレットを更新していく予定はあるのか。

**答弁** 最新の情報に載せ替えていくことが必要になると考えている。更新方法については、今回と同じように紙ベースで配付するのか、電子情報で発信するのかを検討していきたい。

**質疑** リーフレットに広告は掲載するのか。

**答弁** 現在のところ、広告の掲載は予定していない。



議案第70号 令和4年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

## マイナンバーカードの申請・交付実績

○個人番号カード等交付事務費 1億961万9,766円

**質疑** これまでのマイナンバーカードの申請および交付実績は。また、マイナンバーカードの交付事務に従事する職員の体制は。

**答弁** マイナンバーカードの申請および交付実績について、令和3年度は、申請件数が2万471件(申請率50.82%)、交付件数が2万8,605件(交付率44.12%)。令和4年度は、申請件数が6万4,318件(申請率83.79%)、交付件数が4万7,683件(交付率68.61%)であった。令和5年度は8月末までの集計で、申請件数が4,858件(申請率86.71%)、交付件数が1万4,436件(交付率76.33%)となっている。

また、マイナンバーカードの交付事務に従事する職員の体制については、当初、正規職員4名、フルタイム会計年度任用職員22名、パートタイム会計年度任用職員8名で対応していたが、年度末の混雑を受け、パートタイム会計年度任用職員を18名に増員して対応した。



鈴鹿市マイナンバーカードセンター

## 新型コロナウイルスワクチン接種の実績

○新型コロナウイルスワクチン接種費 4億4,960万6,795円

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費 5億1,622万1,919円

**質疑** 令和4年度のワクチン接種の実績は。また、委託先および委託料は。

**答弁** 新型コロナウイルスワクチンは、1回目から5回目のトータルで19万8,563回の接種を行った。また、主な委託先として、運搬は西濃運輸株式会社鈴鹿支店で、委託料は778万2,500円。集団接種会場の運営はジャパンレントオール株式会社で、委託料は1億1,173万2,500円。廃棄物処理は三重中央開発株式会社で、委託料は117万8,210円。相談業務(コールセンター)は株式会社NTTマーケティングアクトProCXで、委託料は1億1,711万2,048円。人材派遣は株式会社ナースパワー人材センターで、委託料は2,402万9,932円。啓発事業はジャパンレントオール株式会社で、委託料は293万7,000円。医療機関への接種の委託料は4億4,960万6,795円となっている。



ワクチン接種の様子

## 産業建設分科会

議案第63号 令和5年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)



9月13日

### 新たな揚水機の設置による生産性の向上と農村の保全

○市費単独大規模事業費 700万円

**【概要】** 老朽化により十分な水量が確保できなくなった揚水施設(井戸)の代替として、新たな揚水機を設置するもの。

**質疑** 市内の農業用井戸について、順番に点検するなど、早期に修繕することはできないのか。また、4月に修繕が必要であったが、9月に補正予算を計上した理由は。

**答弁** ポンプの維持管理は、地元の水利関係者などが管理しており、3年ほど前にも同じ箇所でポンプの目詰まりが発生したが、その際は、簡易な補修で済んだ。2月ごろに点検をするのが理想であるが、ポンプを一度動かすと、試運転の電気代が必要となる。4月に作付けを行ったが、何とか少ない水量で稼働しながら使用していた。また、耕作の時期に施工するのは難しいため、刈り取りが終わった9月の補正予算に計上した。



揚水施設(井戸)

< 議案第63号～議案第76号について >

諸派 (日本共産党) **石田 秀三 議員**

市民の声 **中西 大輔 議員**

議案第70号・議案第71号に反対  
その他議案は賛成

マイナンバーカードの強制をやめ、健康保険証は存続すべき。生活保護行政が市民の生存権を守る役割を果たしていない。18億円に増えた支払準備基金を使って、国民健康保険料の引き下げを行うことを求める。



全議案に賛成

一般会計決算についてはおおむね妥当。しかし経常収支比率92.0%は良いとはいえない。自主財源の確保、事業仕分け、行政も身を切る改革が必要。財政調整基金から公共施設整備基金への計画的な積み立てが必要。



議決一覧 (9月定例議会)

【○：賛成 ×：反対】

議案 など	会派名 ( )は所属議員数	新緑風会 (6)	自由市民議団 (6)	市民の声 (5)	れいめい (4)	公明党 (3)	諸派 (日本共産党) (2)	無所属 (1)	議決結果
議案第63号	令和5年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第64号	鈴鹿市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第65号	鈴鹿市立公民館条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第66号	鈴鹿市火災予防条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第67号	工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第68号	字の区域の変更について	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第69号	市道の認定について	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第70号	令和4年度鈴鹿市一般会計決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	認定
議案第71号	令和4年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	//
議案第72号	令和4年度鈴鹿市土地取得事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第73号	令和4年度鈴鹿市介護保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第74号	令和4年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第75号	令和4年度鈴鹿市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 認定
議案第76号	令和4年度鈴鹿市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	//

(次ページに続く)

(前ページから続く)

議案など	会派名 ( )は所属議員数	新緑風会	自由民主党	鈴鹿市議団	市民の声	れいめい	公明党	諸(日本共産党)	無所属	議決結果
		(6)	(6)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	
議案第77号	人権擁護委員候補者の推薦同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第78号	人権擁護委員候補者の推薦同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第79号	人権擁護委員候補者の推薦同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第80号	人権擁護委員候補者の推薦同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	//

委員会発議案第2号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
委員会発議案第3号	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	//
委員会発議案第4号	自動車関係諸税などの見直しに関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	//
委員会発議案第5号	子どものために「保育士配置基準の引き上げ」と、「賃金・労働条件改善による保育士増員」を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	//

※ 可決した4件の意見書は、国会および国の関係省庁に提出しました。

請願第2号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第3号	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	//
請願第4号	自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	//
請願第5号	子どものために「保育士配置基準の引き上げ」と「労働条件改善による保育士の増員」を求める意見書の提出を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	//

議長は原則として採決に加わりません。

## 会派等構成員一覧

新緑風会	◎山口 善之 大杉 吉包 河尻 浩一 曾我 正彦 加藤 公友 松葉谷光由
自由民主党	◎宮木 健 野間 芳実 森 喜代造 森 雅之 太田 龍三 桐生 常朗
市民の声	◎中西 大輔 藪田 啓介 市川 昇 田中 淳一 藤井 栄治
れいめい	◎南条 雄士 市川 哲夫 水谷 進 田中 通
公明党	◎池上 茂樹 藤浪 清司 船間 涼子
諸(日本共産党)派	◎石田 秀三 高橋さつき
無所属	矢田真佐美
無所属	山中 智博(議長)

◎：会派等代表者

採決時の会派等構成員一覧です。

## 一般質問（要旨）

一般質問は、定例議会において提案された議案に関係なく、市の一般事務について市の方針をたずさるものです。

自由民主党  
鈴鹿市議員

森 喜代造 議員

### 児童虐待について

（質問）本市の相談件数と今後について問う。

（答弁）令和2年度の新規受付件数は299件、令和3年度が301件、令和4年度が315件と増加傾向にある。これは一概に虐待が増加したのではなく、地域や保育施設、学校などの見守りにより、早期発見につながったものと考えられる。今後、子ども本人の安全確認は、対面による確認を徹底するとともに、児童相談所による一時保護の機会を逃さないために、子どもに関わる所属機関の総合的判断力の強化を図る。

その他の質問 ○認知症対策 ○学校の屋外トイレ



公明党

藤浪 清司 議員

### 不登校対策について

（質問）不登校対策の現状と、校内適応教室「ほつとルーム」の拡充や、オンラインによる自宅学習など教室以外での学習を出席と成績へ反映させることなど、文部科学省の不登校総合支援対策に基づく取り組みについて尋ねる。

（答弁）現在、小学校10校と全ての中学校で校内適応教室を設置し不登校の未然防止と支援に取り組んでいる。国の補助金活用も視野に学習時間の確保に努める。ICTを活用した学習支援も行いながら出席扱いや成績反映につなげる。教育委員会と学校が連携し一人一人に応じた多様な支援を行う。



市民の声

藪田 啓介 議員

### 障がい者のいきやすさ

（質問）障がい者のいきやすさには学校における包括的教育（インクルーシブ教育）、福祉施策における就労支援や就労継続支援事業所の支援などの取り組みが必要であると考えられる。また、障がい者の家族への支援や多様な働き方の啓発はどうなっているのか。

（答弁）教育委員会としては相互交流や共同学習に取り組む多様な学びの場を提供する。就労継続支援事業所などでは就労移行支援体制加算で一般就労への移行が評価される。また、障がい者の家族への支援では誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組む。



新緑風会

加藤 公友 議員

### 生成AIの導入について

（質問）住民サービスの維持・向上を図るためには、AIの活用が必要と考える。本市の生成AIと、AI活用の現状と今後について問う。

（答弁）本市のAI活用の現状は、AI-OCRとRPAの検証により効果があつた業務を令和3年度から本格導入している。生成AIの導入は、各自治体の活用事例や活用効果、それに伴うリスクの検証中で、正式な導入には至っていない。今後は、業務効率や市民サービス向上につながる活用方法を検討する。

その他の質問 ○公民連携のまちづくりに向けて ○自転車利用者のヘルメット着用



市民の声

中西 大輔 議員

### 主権者教育の充実について

（質問）主権者教育について、多様な主体の参画により、本市独自の教材をアップデートして作成するとともに、授業などへ議会も含め参画を求めてはどうか。

（答弁）主権者教育の教材については、新たに端末などを活用するとともに、さまざまな関係者の協力も得ながら、より充実した教材となるよう内容を検討する。また、多様な主体の参画については、他市町の優良事例を参照し、慎重に調査研究を進めながら、本市の主権者教育の充実に向けていく。

その他の質問 ○公正な選挙



新緑風会

大杉 吉包 議員

### 本市の産業振興について

（質問）国は、2035年までに、乗用車は新車販売でハイブリット車を含めた電動車100%を実現するとの目標を掲げている。本市の自動車関連企業に大きな影響が出ることが予想されるが、EV関連企業への誘致交渉について伺う。

（答弁）さまざまな企業に対して定期的に企業訪問を行い、情報交換などを行っている。本市のさらなる産業活性化を図るため、今後企業が新たにEV組立工場などの新設を検討される場合には、本市を立地場所の候補地として検討していただけるよう、積極的な誘致活動を行っていく。



### 総合計画における消防力について

(質問) 消防車への4人乗車体制確立に向けて、国は指針の中で乗車人数は5人が望ましいとしているが、本市では、4人以上の乗車が29.8%、3人乗車が70.2%である。定年引き上げを含む今後の職員体制の取り組みについて問う。

(答弁) 4人乗車体制確立に向けて、定年引き上げによる高齢職員の経験を生かし、各消防署の配置人員、出動体制の見直しを図るとともに、消防職員のほか、他部局の職員も含め、今年度中に必要な定数の変更を行う。

その他の質問 ○自治会と地域づくりの在り方



### 公共工事の入札について

(質問) 公共工事の入札においては、公告時の設計図や参考数量書に誤記や不整合が見られる。また、契約締結後にも、図面優先の名の下に数量の誤記などに対応できていない。適切な施工管理に向けて、これらの課題を解決しなければならないが、市の対応を問う。

(答弁) 公告までに確認ができる時間を確保し、誤記や不整合が無いよう徹底する。また、図面が優先で、積算数量の見直しが困難な現状の課題についても、国土交通省の取り組みを参考に、解決に向けて検討する。

その他の質問 ○デジタル化推進



### 「義務教育学校」計画について

(質問) 南部3小学校統廃合の議論は複式学級の是非からスタートしたが、急に9年制義務教育学校という質の異なる出口を提示した計画が出された。新しい小中一貫の学校は9学年27学級の大規模校になるなど、議論すべき問題が多くある。この計画の結論を今年度中に出すのは早計で、鈴鹿市全体の問題として議論すべき。

(答弁) 再編計画(素案)では、令和8年度に3小学校の再編で新たな小学校を、令和14年度を目途に義務教育学校を開校するとしており、まずは天栄中学校区で、小中一貫教育について取り組んでいく。



### 学校給食について

(質問) 給食は義務教育であり無償と考える。今年度491の自治体が無償化を実施。予算の約1%で実施でき、財政調整基金が97億円あるので実現可能と考える。また、子の健全な発達と地域農業振興、環境保全、自給率向上につながる有機給食への転向を教育委員会と農業関連機関が連携し、1品からでも始めてほしい。

(答弁) 給食無償化は国策で実現すべきであり市単独で実施する考えはない。また、有機農業者の育成に努めるが、給食への有機野菜の導入は流通量と価格面から難しい。

その他の質問 ○多胎児育児の支援



### 太陽光の設置について

(質問) 本市は、太陽光発電施設の設置推進について、どのように考えているのか。

(答弁) 本市は、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、2030年度の温室効果ガス排出量の削減目標を、国が目指す2013年度比で50%の削減と設定している。この高い削減目標を達成するため、公共施設への太陽光発電設備の導入を検討するとともに、市民や事業者に対しても周辺の自然環境や生活環境に配慮した上で太陽光発電の導入を推進していく。



その他の質問 ○鈴鹿南部地域の将来像

### 高齢者の孤独・孤立について

(質問) 独り暮らしで親族などがいない高齢者が、入院・入所などの必要が生じた際に身元保証を求められ、保証人がいないために利用できない事例が全国的にあるが、本市ではどうか。

(答弁) 病院や施設において、身元保証を求める大きな理由は、主に支払いの保証、医療行為の同意、遺体の引き取りなどで、かつ高齢者自身の判断能力の有無でさらに課題は複雑になる。これらの課題解消に向け、成年後見制度などの公的制度の利用促進と「身寄りがない方の入院・入所に関するガイドライン」の作成に向け取り組んでいる。



## 子どもの虐待について

(質問) 児童虐待相談対応件数は15年間で5倍に急増し、本市は子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を中心に相談対応している。国は来年4月から2つの機能は維持したまま新たにこども家庭センターの設置を自治体へ求める。母子保健と児童福祉の一体的支援は児童虐待防止に有効と考えるが本市の取り組みは。

(答弁) 令和6年度のこども家庭センターの設置に向け、より一体的な支援のために組織の改編も踏まえながら検討を進めている。

その他の質問 ○企業誘致 ○中学校の学校給食



## 鈴鹿市の文化財指定における現状について

(質問) 現在、鈴鹿市には多くの文化財があるが、①文化財指定に対する市の考え方、②市の文化財指定審査の取り組み、③将来文化財指定が市の発展に及ぼす影響、この3点についてお聞きしたい。

(答弁) ①貴重な文化財を次の世代へ継承するために必要であり、適切な保存に向けて取り組む。②文化財調査会と協力し、文化財の指定に向けた業務を進める。③文化財保護の推進により歴史と文化を継承するとともに、産業振興部と連携し地域資源として地域の誇りや活気などにもつなげていく。



## 安全・安心なまちづくりについて

(質問) 防災危機管理との意見交換において、本市独自の津波避難タワー建設の必要性は無いという方向性を示されたが、その根拠について問う。

(答弁) 津波避難施設の確保は重要であり、地域と連携し、民間のビルなどを津波避難施設として利用することに協力いただけるよう働きかけるとともに、施設整備の補助制度を設けている。また、公共施設の建て替えに際し、津波避難施設の整備を合わせて行っている。今後

も施設の指定拡大に努めていく。

その他の質問 ○本市のスポーツ振興



## AI導入時代における職員の対応について

(質問) AIの社会実装が進み、既知の問題の中でも責任問題がその代表例であり、本市も早急な対応が必要である。行政事務へのAIの導入状況、生命財産に関する判定へのAIの関与、AI判定による結果と対応について問う。

(答弁) 業務効率化を目的に導入するAI技術は、AI-OCRとAI音声認識の2つ。生命財産に関するものも含めAI判定システム導入には至っていない。結果責任は組織として対応すべき。

その他の質問 ○少額随意契約工事等の契約事務簡素化基準 ○地域維持型維持修繕業務委託の妥当性



## 白子駅について

(質問) 白子駅西ロータリーにおける一般利用者の送迎用の乗降エリアはどこになるのか。また、2027年にリニア中央新幹線が開通する時期と鈴鹿市制85周年に合わせて、白子駅名を「鈴鹿市白子駅」に改称することを提案する。

(答弁) 一般利用者には白子駅西ロータリー西側歩道沿いに乗降用停車エリアを確保している。また、駅名変更は駅名看板の変更や券売機などのシステム変更をはじめ莫大な費用がかかる。地域のニーズを踏まえ慎重に対応する。

その他の質問 ○脱炭素社会に向けた取り組み



## 住民主体の地域の在り方を問う

(質問) ①小学校区と行政区、地域づくり協議会のエリアがずれている地域の現状と課題は。②複数の中学校にまたがる小学校区の現状は。

(答弁) ①区域のずれによる課題は、活動区域が異なる団体の連携時の資金や人員等の調整、同じ学校内における行事への参加可否の混在などがあるが、市民生活への影響が大きく解消に至っていない。地域づくり協議会代表者会議を通じた課題共有により、誰もが住みやすいまちを目指す。②現在4小学校で事例がある。児童生徒数の推移や地域の声も伺い、必要な通学区域の見直しを検討する。



# 議会改革特別委員会を設置

特別委員会は、常任委員会の例外をなすもので、2つ以上の常任委員会の所管に属するものや、案件が重要で1つの常任委員会の負担に耐えられないものなど、特定の事項を調査または審査する場合に、議決により設置します。

今回は、議会基本条例を検証し、さらなる議会改革に向けて調査研究するため、7名の委員をもって構成する「議会改革特別委員会」の設置を、9月26日の9月定例議会本会議において決定しました。

## 議会改革特別委員会

### ○設置目的

議会基本条例を検証し、さらなる議会改革に向けて調査研究することを目的とする。

### ○調査項目

議会基本条例の検証などについて。

### ○設置期間

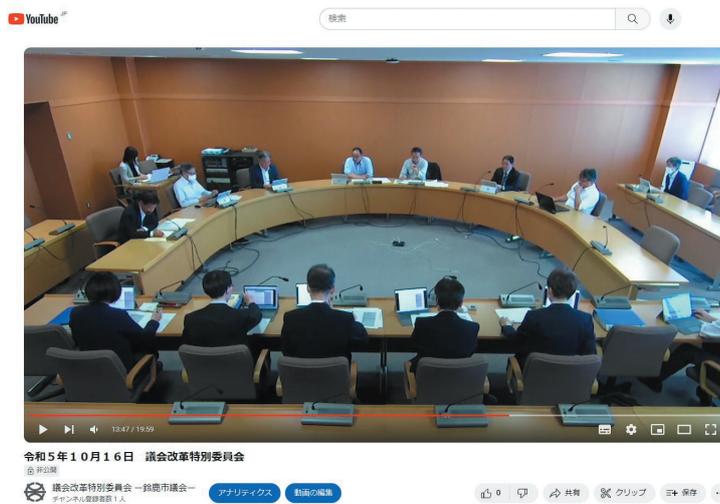
令和5年9月26日から調査または審査が終了し、議長に報告書を提出するまでの期間。



YouTubeで録画配信しています

議会改革特別委員会の様子は YouTubeで録画配信しています。YouTubeは市議会ホームページから視聴することが可能ですので、ぜひご覧ください。

議会改革特別委員会  
YouTube ページ



議会改革特別委員会の様子 (YouTube)

(注) スマートフォンなどによる視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信業者から高額な料金を請求される場合がありますので特にご注意ください。

# 常任委員会の行政視察報告

各常任委員会では、本年度の所管事務調査事項について先進的な取り組みを実施している自治体への行政視察を行いました。本市の取り組みに生かすため、行政視察で調査した内容を含め、今後さらに協議をし、各常任委員会で意見を取りまとめた上で、市長に提言を行います。

## 総務委員会

7月26日～28日

### ○東京都杉並区「防災備蓄物資（備蓄食）のアレルギー対応について」

杉並区では、緊急輸送道路の被災や大渋滞などの混乱を想定し、令和7年度末までに、区内に3日分の食料物資を確保することとしています。備蓄物資については、アレルギー対応のライスクッキーやご飯、粉乳などを備蓄しています。防災訓練やイベントにおいて、備蓄食を試食してもらい、できる限りおいしい備蓄食を選定しています。また、妊娠届出時には、液体ミルクの利用方法を記載したリーフレットを、4か月検診時には、希望する保護者へ液体ミルクを配付しています。

本市においても、アレルギー対応の備蓄食を増やすとともに、さまざまな場面で備蓄食の啓発活動を行うことが重要であると感じました。



### ○その他の視察先と視察目的

愛知県豊田市「移動式期日前投票所について」

東京都町田市「職員の災害対応能力向上のための図上訓練について」

神奈川県横浜市「主権者教育について」

## 文教環境委員会

7月19日～21日

### ○長野県塩尻市「学力検定受検料補助について」

塩尻市では、小中学生の学力検定受検機会の拡大、学習意欲・学力の向上、保護者の経済的負担軽減を図ることを目的に、学力検定補助制度を実施しています。算数検定、数学検定、英語検定、TOEICテストの検定料を1年度につき1回、本人負担が1,000円となるように補助しています。

塩尻市以外にも多くの自治体において学力検定補助制度を実施していますが、補助回数、補助金額などの補助内容についてはさまざまであるため、本市において実施を検討する場合には、さらなる調査研究が必要であると感じました。



### ○その他の視察先と視察目的

東京都台東区「文化施設、スポーツ施設の利用率向上について」

東京都「私立中学校授業料軽減助成金について」・「受験生チャレンジ支援貸付事業について」

東京都文京区「文京区中学生学校外学習費用の助成について」



## 地域福祉委員会

7月24日～26日

### ○埼玉県深谷市「書かない窓口について」

深谷市では、令和2年7月27日から書かない窓口を開始しています。窓口では、記載台を撤去し、受け付け番号機を設置するとともに、これまで最大で4枚記入する必要があった申請書を、1枚の申請書に統一させ、職員が内容を確認することにより、市民は署名するのみで手続きを完了させることができるようになりました。また、各種手続きに対応する職員数は4人から2人となり、証明書発行の手続きは平均で9分、住民異動届の手続きは平均で25分削減でき、人件費は約2,300万円削減されました。

書かない窓口を導入することにより、各種手続きに要する時間を短縮でき、人件費も削減することができることから、今後、本市においても調査研究を進め、書かない窓口の導入を検討していきたいと感じました。



### ○その他の視察先と視察目的

静岡県静岡市「結婚新生活支援について」

神奈川県川崎市「子どもの権利条例について」

## 産業建設委員会

7月24日～26日

### ○茨城県常総市「道の駅常総について」

常総市が進める「アグリサイエンスバレー構想」は、道の駅、商業施設、産業施設、大規模園芸施設、観光農園、都市公園を配置し、「食と農と健康」をテーマに6次産業化を軸としたまちづくりと地域活性化を目指すプロジェクトです。アグリサイエンスバレー事業が地域経済へもたらす波及効果は、企業誘致による雇用創出・税収増加、地域の基幹産業である農業の再生・発展、人口流出の抑制、地域の関係人口の増加、地域産業の新たな創出、農業生産高・所得の増加などさまざまです。

また、道の駅を基盤として、地域情報を継続的に発信し、持続可能なマーケティング環境を整えているなど、本市にとって参考となる点が数多くあったことから、実りある視察であったと感じました。



### ○その他の視察先と視察目的

埼玉県川越市「インバウンドを含めた観光誘客について」

山梨県甲府市「ふるさと納税の取り組みについて」

# 議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

## 議会にお越しください

### ●傍聴の手続き方法

本会議や委員会などの傍聴をするときは、市役所本館14階の議会事務局で傍聴券を受け取ってから入室してください。本会議の傍聴受け付けは先着順です。本会議以外の傍聴受け付けは、開会30分前から開始し、同10分前に締め切ります(締め切り時点で傍聴希望者が定員を超えた場合は、抽選により決定します。)

なお、会議の開催予定は、市議会ホームページや市役所掲示板などでお知らせします。



本会議場：定員53名



委員会室：定員10名

### ●音声を聞き取りにくい方に

議場の傍聴席にて音声を聞き取りにくい方には、ヘッドホンを出していますので、議会事務局へお申し付けください。



また、手話通訳や要約筆記をご希望の方は、事前に議会事務局へお申し付けください。

## 議会に来られなくても…

### ●本会議をライブ中継しています

本会議の様子をケーブルテレビ(CNS・112ch)とYouTube(市議会ホームページからご覧いただけます。)でライブ中継しています。放送時間は午前10時(開会時間)から会議の終了までです。

### ●本会議の録画映像を配信しています

ライブ中継した本会議の映像をYouTube(市議会ホームページからご覧いただけます。)で録画配信しています。※録画映像がアップロードされるまでに数日を要します。

### ●委員会などの録画映像を配信しています

委員会などの映像をYouTube(市議会ホームページからご覧いただけます。)で録画配信しています。※録画映像がアップロードされるまでに数日を要します。

### ●会議録でもっと詳しく

会議の詳しい内容については、市役所本館14階の議会図書室と4階の情報公開コーナーで会議録の閲覧ができます。また、本会議の会議録は、市立図書館や各地区市民センターなどでも閲覧できます。なお、会議録は市議会ホームページで公開しています。

※9月定例議会の会議録は、11月下旬に配置予定です。

## 11・12月の会議日程

(注)日程は変更になる場合があります。

月	日	曜日	時間	内容
11月	21日	火	10:00	議会改革特別委員会
	24日	金	10:00	本会議(提案説明)
	27日	月	14:00	議会運営委員会
12月	4日	月	10:00	本会議(質疑・一般質問)
	5日	火	10:00	本会議(一般質問)
	6日	水	10:00	本会議(一般質問)
	7日	木	10:00	本会議(一般質問)
				議会運営委員会(本会議終了後)
				各派代表者会議(議会運営委員会終了後)
	8日	金	10:00	本会議(一般質問・追加議案等・委員会付託)
	12日	火	10:00	予算決算委員会(本会議終了後)
文教環境委員会(分科会)				
				産業建設委員会(分科会)
12月	13日	水	10:00	総務委員会(分科会)
				地域福祉委員会(分科会)
	14日	木	10:00	常任委員会予備日※
	15日	金	10:00	常任委員会予備日※
	18日	月	10:00	予算決算委員会
				各派代表者会議(予算決算委員会終了後)
				広報広聴会議(各派代表者会議終了後)
		13:00	議会改革特別委員会	
20日	水	10:00	議会運営委員会	
21日	木	10:00	本会議(委員長報告・討論・採決)	
			全員協議会(本会議終了後)	
			議会だより編集会議(全員協議会終了後)	

※常任委員会の進行状況により、開催しない場合があります。

### 皆さまのご意見などをお聴かせください

市議会や市議会だよりに対する皆さまのご意見・ご提案・ご要望をお聴かせください。今後の議会運営の参考にさせていただきます。

宛先は

### 鈴鹿市議会事務局

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号  
TEL: 059-382-7600 FAX: 059-382-4876  
E-mail: giji@city.suzuka.lg.jp